

進路指導室へようこそ 3

前橋女子高校進路指導部

令和7年度 MJ 進路通信 第44号

令和8年1月16日(金)発行

■明日は共通テスト～頑張れ！3年生～

会場の準備も着々と進んでいます

試験日	出題教科	出題科目	試験時間
第1日	地理歴史 公民	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『地理総合/歴史総合/公共』(注1) 『旧世界史A』『旧世界史B』 『旧日本史A』『旧日本史B』 『旧地理A』『旧地理B』 『旧現代社会』『旧倫理』 『旧政治・経済』 『旧倫理、旧政治・経済』	2科目選択 9:30～11:40(注2) 1科目選択 10:40～11:40
	国語	『国語』	13:00～14:30
	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』	『英語』『リーディング』 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 【筆記】 15:20～16:40 『英語』『リスニング』 17:20～18:20(注3)
第2日	理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(注1) 『物理』『化学』『生物』『地学』	2科目選択 9:30～11:40(注2) 1科目選択 10:40～11:40
	数学①	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ』 『旧数学Ⅰ・旧数学A』『旧数学Ⅱ』	13:00～14:10
	数学②	『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『旧数学Ⅱ・旧数学B』『旧数学Ⅲ』 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』	15:00～16:10
	情報	『情報Ⅰ』『旧情報』	17:00～18:00



1/21(水)午後?

分析結果が各業者からリリースされます。受験生も自分のスマホ等から結果を見ることができます。登録しなかった受験校も判定を調べることができますし、共通テスト利用受験の判定も出ますので、ある程度の目途がたちます。ただし情報に振り回されないことも大事。業者の情報で「この大学は人気薄で狙い目」とされた大学に受験生が殺到し、蓋を開けたら高倍率、というのは有名な「受験あるある」。この時期は冷静に私大や国公立大の受験準備を進めることが最優先です。

1/22(木)出願検討会

3学年・進路指導部・授業担当の先生が一堂に集まり、生徒一人ひとりの出願について検討する会議です。各業者の分析や全国の志望動向などを踏まえ、適切なアドバイスを皆で考えます。

1/23(金)～2者面談

担任の先生と、最終的な受験校の確認をします。方向性が定まったらすぐに出願の準備です。

1/26(月)～2/4(水)国公立大出願

いよいよ国公立大の出願。出願はすべて自分で行います。国公立大の入試には、前期・中期・後期と3回ありますが、すべてこの期間に出願を行います。

出願が終われば、後は勉強あるのみ。特編授業が行われていますが、この時期一番重要なのは

「学校から離れない！」

こと。不安から家や塾の自習室に籠ったり、他の人と違った行動に出てしまう人はだいたい失敗します。仲間と励ましあってこそ「受験は団体戦」。チームの力が個々の背中を後押ししてくれます。

いよいよ明日から共通テスト。3年生は本日学年集会(事前指導)を行い、午後からは翌日の試験に備えて放課となりました。共通テストは、上の時間割にあるように2日間に及ぶ試験で、長い人は2日間とも18時前後まで試験を受けることになります。

翌日は学校にて自己採点が行われ、その結果をもとに第一志望の出願先を検討していきます。同時に私立大学の受験も始まりますので合格発表までは緊張の毎日です。来週から3年生は、次のような流れで受験まで動いていきます。1・2年生の皆さんもこの機会に受験の流れについて確認しておきましょう。

1/17(土)・18(日)共通テスト本試験

2日目の夜には試験問題と正解、予備校業者等による難易度予想が公開されます。最近待ちきれずに答え合わせをする人も多いようです(翌日学校でももう一度自己採点を行います)。

1/19(月)自己採点

学校で一斉に自己採点を行います。webによる自己採点の提出となりますのでchromebookも必要です。画面上で解答を打ち込んでいくと自動的に採点し、得点が判明します(つまり、合計を計算する際の間違ひは起こらない)。入力の間違ひがないように、丁寧に点検作業を行い、得点データを提出します。同時に志望校を登録し、結果を待ちます(志望校は事前に登録しておきます)。

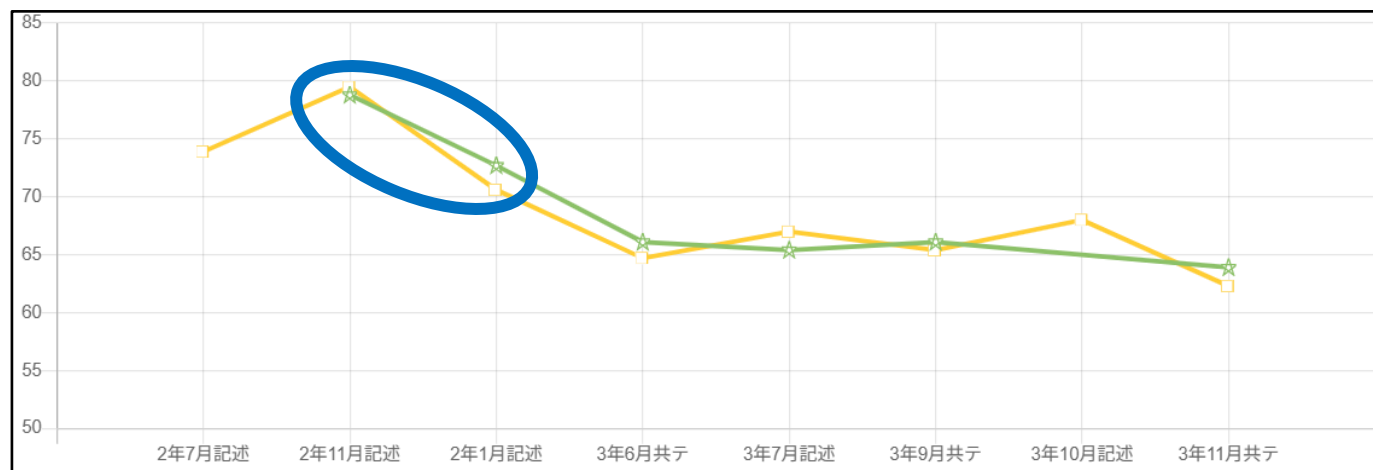
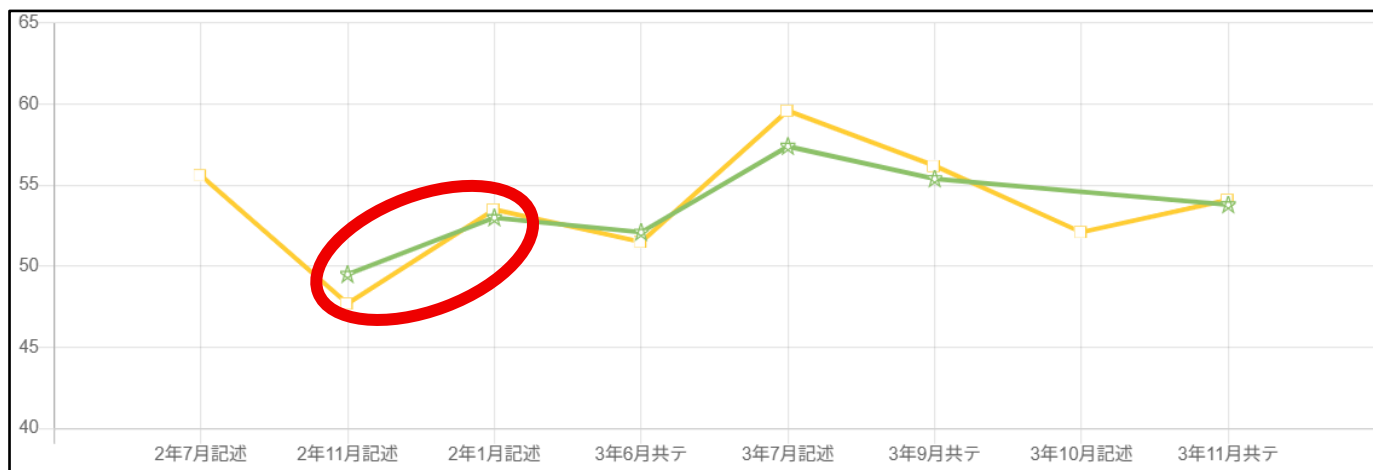
■自分が受験しているイメージをもって

(1・2年生へ)

週末は校舎貸与（共通テスト）のため学校には入れず家で学習する時間が十分とれる人が多いはずですが、翌週は進研模試が予定されていますので、しっかり準備をしましょう。過去問等が配布される教科もあると思いますが、ぜひ正確に時間を計って取り組んでほしい。3年生はこの時間、共通テストに取り組んでいるわけで、一緒に本番の入試に臨んでいるつもりで入試のシミュレーションをやってみましょう。

■1月の結果は、意外とターニングポイントになる

下のグラフは、昨年度卒業生 A さん（上段）・B さん（下段）の3教科/5教科成績推移です。Aさんは1月の模試で前回模試の下降を挽回し、その後は安定した成績を維持して受験本番を迎えることができました（母集団の変動により、普通偏差値は下がっていきなかつたこの推移は驚きです）。一方、Bさんは11月模試の貯金を1月で消費し、そのまま浮上のきっかけをつかめないままでした。1月の模試の変動が、今後の状況を占う、大きなターニングポイントになる人は、結構います。



■群馬県高校生東大セミナーの様子

11日（日）に、前橋女子高校を会場として、群馬県高校生東大合格セミナーが開催されました。県内の高校2年生で、東京大学を含む難関大を目指す生徒を対象に、東大（難関大）合格に向けての学習のポイントを共有しました。講義にあたっては、駿台予備校から東大入試に精通したトップ講師を招き（ちなみに英語の大島先生はマエタカOBです）、英数国（現代文）3教科について濃密な講義をしていただきました（理社および古文漢文は3年7月に実施予定です）。講義に加え、他校の生徒との交流（情報交換）の時間もあり、大きな刺激を得られるイベントでした。ちなみに2月には1、2年とも駿台の全国模試（希望者）が予定されています。難関大を目指す全国のレベルをこの時期経験しておくことはとても

大切です。「駿台」という名前に隠せず積極的に挑戦しよう。

